

広濟寺寺報

発行 浄土真宗本願寺派 福田山 廣濟寺

〒 933-0344 富山県高岡市笹川98

TEL(FAX) 0766-31-0096

E-Mail info@kosaiji.net

ホームページ

https://kosaiji.net/

法座のご案内

報恩講

十一月五日(日)・六日(月)

午前九時半・午後一時半より ※五日は午前のみ

五日(日)午後二時より

子ども報恩講・仏婦報恩講



今号の法語



少し

止まることも

歩むことの

ひとつです



今号の内容

- ・報恩講のお斎復活・子ども報恩講
- ・住職コラム
- ・千夏のきときと日記
- ・LINEアカウンント作ってみました♪



『歩く』という字は『少し』『止まる』と書く。急がなくていい、一歩一歩しつかり進んでください。』

これは今は懐かし、三年B組金八先生の言葉です。「歩」の漢字を見てみると、確かに「少」と「止」の漢字が組み合わさっていますよね。面白い見方だなと思いつつも、同時にとても大切なことを教えてくれているように思います。

人生においては、「立ち止まる」勇気が必要です。上手くいかない時こそ、気が立ってしまいうもの。そんな時は大概まわりが見えなくなり、自分自身も見えなくなっているのではないのでしょうか。

日々の生活の中で「立ち止まる」時間をつくることで、まわりや自分もまた違って見えてくるかもしれません。

仏さまの前に座ることも、きつと「立ち止まる」一つの姿なのではないでしょうか。大切にしていきたいと思っています。



子ども達も一生懸命にお勤め

報恩講のお齋復活^{とき}

子ども報恩講は縁日形式

暑かった夏も終わり、今年も報恩講の季節がやってきました。

報恩講は浄土真宗で一番大切にしている行事です。今年も門徒役員の方々と話し合い、いよいよ二年間控えていたお齋(食事)も復活させることに

なりました。

提供方法は、それぞれで食べることができ持ち帰りもできる、お弁当形式になります。当日が楽しみですね。

そして、昨年リニューアルした子ども報恩講は、五日(日)午後に行うことになりました。本堂いっぱい広がる子ども達の元気な声。門徒さんスタッフの方々にも協力いただき、縁日もさらにパワーアップさせる予定です。

この報恩講に向け、仏具みがき・境内^{けいだい}清掃などの準備も始まります。皆さんと共に迎え、皆さんと共に報恩講(ほんこさま)。ぜひお参りください。心よりお待ちしております。

住職コラム

あの猛烈な暑さの夏も過ぎ、早や中秋の名月も過ぎ、ひんやりと流れる空気の中で月をながめています。

四、五十年前に発行され、ひよつとすれば皆さんのお仏壇の隅に置いてある緑色のお経本『禮拜^{らい}聖典』(京都・百華苑発行)に、親鸞聖人のご師匠でおられる法然聖人の作詞になる仏教聖歌があります。



『月かげのいらたぬ里はなけれども ながむる人の心にぞすむ』

※意訳 月の光が照らさない場所はどこにも無いけれど、「ああ、月が綺麗だなあ」という気持ちは月を見上げる人の心にこそある

このお経本には全部で四十二曲載っていますが、作詞を見るだけで色々味わいがあります。

全てが阿弥陀さまから私へのよびかけであり、こんな私に届きただく。まことにもったいないことですね。

ありがとうございます。なまんだぶ。合掌



千夏のきときと日記

十月に入り、ようやく過ぎしややすい気候になってきました。この夏は(六月くらいから?)とても暑い日が続き、毎日「暑い!」と言って過ごしていたよな気がします。



月忌参りに伺った際にも、昔はこんなにも暑かっただろうか?とご門徒の方々とよく話題になっていました。そこで気象庁のホームページで三十年前の

八月の日平均気温(富山県伏木)を調べてみました。この年は冷夏だったようなのでその前年も見えてみることに。三十一年前(一九九二年・平成四年)は二十五・八度。三十年前(一九九三年・平成五年)は二十三度。さらに調べたついでに四十年前(一九八三年・昭和五十八年)では二十六・六度。そして、今年は二十九・九度!約三十度ということ、暑くなったことも納得しました。

気温の変化でも分かるように、私たちは日々変わりゆく時を過ごしています。仏教の真理の一つに『諸行無常』があります。この世のものはたえずなく変化し続けているという事実をありのままに述べたもの

というそうです。先ほど三十年前の気温を調べていた時、その時の私を思い出しゾツとしました。私も確実に年をいただいております…。いつまでも若くないことを思い知らされた半面、ずっと変わらない仏様の教えを聞かせていただいている喜びも感じます。お寺では報恩講の時期です。変わりゆく時

と、



LINE アカウントを

作ってみました♪

LINEといえば、言わずと知れたコミュニケーションツール。そんなLINEにおいて、広濟寺アカウントを作ってみました。寺アカウントを作ってみました。寺報や法



手軽にメッセージや電話がでます。月参り

の予定変更や法事の日程調整など、様々に



お知らせ

令和五年

おみがき

十月二十三日(月)

午前八時半より

報恩講前日準備

十一月四日(土)

午前八時半より

報恩講

十一月五日(日)

午前九時半より

十一月六日(月)

午前九時半より

午後一時半より

御講師

伏木組 龍善寺

山名 一徳師

子ども報恩講

十一月五日(日)

午後二時より

仏教婦人会報恩講

十一月五日(日)

午後四時より

御講師

新湊組 覚円寺

青木 哲隆 師

※月参りについて

十一月四日・五日・六日の

三日間はお休みさせていただきます。

ただきます。



編集後記

ついに大谷翔平選手がアメリカでホームラン王になりました。最後までドキドキでしたが、日本人で初めてのホームラン王です。松井秀喜さんがアメリカへ渡ったのが今から二十年前だったことを思い出すと、感慨深いものがありました。

ですが、シーズン終盤で怪我をしてしまったのは本当に心配ですね。しっかり治して、また活躍してくれるのを楽しみに待ちたいです。

そんな大谷選手ですが、ご存知のように、投手と打者の二刀流。一つだけでも大変なプロの世界で二つともするので、すから、時間の使い方を人一倍に徹底的に管理しているのだそうです。



外食に行かない理由はお店に行く時間がもたないから。また何よりも大事な時間は睡眠というほど、体に気を遣っている大谷選手。自分の若い頃を思い返すと、体力の続く限り遊び続けていた記憶ばかり……。ただただ頭が下がります。

誰もが大谷選手のように厳しく生きれるわけではありませんが、時間(命)に限りがあるのは私たちも同じです。育まれているこの命を大切に、これからも歩いていきたいものです。